



平成22年3月15日

卓話 『ヒポクラテスの誓い』

東京六本木ロータリー・クラブ 会員
隅田幸男クリニック 院長

隅田 幸男 様



福岡南ロータリー・クラブへ昭和61年（1986）入会以来、あっという間に24年目を迎えました。医学会で出張中に随分沢山の国内外のロータリー・クラブを訪問出来たのも楽しい思い出です。医師としても50年目ですから、私自身の姿勢を正すつもりで「ヒポクラテスの誓い」を卓話とさせて頂きました。

2006年に訪れたハンブルグ市ロータリー・クラブ（ドイツ最古）で、会員医師による卓話が「ヒポクラテスの誓い」で、彼の淡々とした解説に多くの会員は感銘を受けたようでした。

卓話者への謝辞で、ある会員が「この誓いは医師だけのものではない、すべての職業の人々にも通用する誓いである」と述べたのです。ロータリーの「4つのテスト」に共通しており、私も改めて感銘したことでした。



ヒポクラテスの誓い

医業にたずさわることを許されたからには、全生涯を人道のために捧げる。恩師に対して感謝を捧げる。良心と威厳とをもって医を実践する。患者の健康と生命が第一の関心事である。患者の打ちあけるすべての秘密を厳守する。医業の名誉と尊い伝統を保持する。同僚は兄弟と見做す。人種、宗教、国籍、政党政派及び社会的地位の如何によつて患者を差別しない。人間の生命を、受胎の始めから至上のものとして尊重する。如何なる強圧に遭うとも人道に反した目的のためにわが知識を悪用しない。

以上は自由意志により又名誉にかけて厳に誓うものである。

（古い医術について、小川政恭訳、岩波文庫、1963年7月16日第1刷発行。原典は医聖ヒポクラテス（紀元前250年頃）がギリシア・ローマ神話の医神アスクレ庇オスに捧げた誓約文であるが、現代医学に合わせて1948年9月、ジュネーブでの世界医学会第2回総会で、より分かりやすい文面に整えられたものである。）

4月お誕生月の会員



大橋 寛治さん
関口 明博さん
安間 百合子さん
杉本 潤さん
松本 智さん（例会は欠席）
山本 章博さん（例会は欠席）

